

普及項目	増殖・流通
漁業種類等	採貝漁業
対象魚類	シジミ
対象海域	八代海

砂川産ヤマトシジミの資源管理指導及び流通支援

県南広域本部水産課・上原 大知

【背景・目的・目標（指標）】

宇城市内を流れ八代海湾奥部に注ぐ砂川の河口域には、熊本県内では貴重で非常に大型になるヤマトシジミが生息している（図 1, 2）。漁場を管理する松橋小川漁業協同組合（以下「漁協という。」）では、潮干狩りのための漁場の一般開放を行っており、春から秋にかけてシジミを求める多くの人で賑わっている。

当課では、平成 20 年代から、資源保護のため、漁業者とヤマトシジミの生息状況調査を実施するとともに、食害対策について指導を行ってきた。しかし、現在はシジミの販路が不足している点と知名度が低いことが課題となっている。

そこで、販路の開拓及び知名度を向上するため、生息状況及び肥満度の調査によりヤマトシジミの最も販売に適した時期（旬）を把握するとともに、漁協による市場出荷や砂川産ヤマトシジミの PR 活動の支援を行った。

【普及の内容・特徴】

（１）市場流通や販売 PR 等に対する支援

八代共同魚市場（以下「市場」という。）への出荷に向け、令和 6 年度（2024 年度）から継続している市場と漁協との協議を仲介した（図 3）。また、砂川産ヤマトシジミの認知度向上を図るため、PR パンフレットやシールの作成について助言した。

さらに、第 8 回全国シジミ・シンポジウム（令和 7 年（2025 年）12 月）や全国青年・女性漁業者交流大会（令和 8 年（2026 年）3 月）への出場を支援し、他産地の取組みに関する情報収集と併せて砂川産ヤマトシジミの PR を行った。

（２）生息状況・肥満度調査

漁業者による自主的な調査実施を促すため、生息状況調査等の手法を指導した（図 4）。また、肥満度を定期的に測定し、産卵時期や最も身入りの良い時期（旬）の推定を行った。

【成果・活用】

（１）市場流通や販売 PR に対する支援

市場との協議の結果、令和 7 年（2025 年）4 月から、漁協で初めての取組みとなる市場への定期出荷が開始された。また、6 月からはサイズ選別機を導入し、殻幅 14 mm 以上の出荷に取り組んだ。現時点では、漁協の希望単価と全国相場との乖離により少量の出荷に留まっているが、PR 資材を活用し知名度向上につなげた（図 5）。

（２）生息状況・肥満度調査

漁協と連携した資源管理や食害対策を地道に続けた結果、大型のシジミが多数確

認められ、シジミ資源の増加や大型化につながった。

肥満度調査では、6月まで肥満度が上昇したが、7月以降低下しており、4月から6月が最も身入りが良く販売PRに適した時期(旬)であることが示唆された(図6)。また、漁協が自主的に7月から8月を禁漁期間としていることの裏付けを行うことができた。今後は、複数年に渡り調査を継続し、資源管理や出荷の判断、販売時のPRに活用していく。

【達成度・自己評価】

4 目標(指標)はほぼ達成できた(76~100%)



図1 位置図



図2 砂川産ヤマトシジミ



図3 市場と松橋小川漁協との協議



図4 漁業者による生息状況調査



図5 店頭に並ぶ砂川産ヤマトシジミとPRラベル



図6 肥満度の推移

※肥満度 = (軟体部重量 × 100 / (殻長 × 殻高 × 殻幅)) × 1,000